

師走に入り、本格的な冬に向かって冷え込みが厳しくなって参りました。今年は全国的に早い時期からインフルエンザが流行し始めているようで、青森県での流行も心配されるところです。また、先月に続き今月も青森市で鳥インフルエンザが発生するなど、全国的にも多くの被害が出ており、今後の被害が出ないことを願うばかりです。何かと忙しい時期ではありますが、2学期を無事に終え、気持ちも新たに2017年を迎えたいものです。

平成28年度青森県学校給食献立コンクール

11月19日(土)学校給食会で開催されました。

1次審査で選考された小学校5チーム、中学校3チーム、特別支援学校1チームの合計9チームが2次審査に参加しました。

今年は初出場のチームも数多く参加しておりましたが、午前の調理審査では、1時間30分の調理時間で盛り付けまで完了できるよう練習を重ねて来たようで、どのチームも手際よく調理していました。各献立は、地元食材をふんだんに使用した料理や郷土料理はもちろんのこと、見た目にも目を引く工夫がなされており、審査員は外観、味、栄養バランス等の様々な角度から厳正に試食審査・採点しておりました。

また、調理終了後の献立のアピールタイムでは、使用した食材や料理等について、その特徴や料理を選んだ理由などが説明され、各チームともわかりやすく、面白くて楽しいプレゼンテーションに会場は大変盛り上がりました。

午後には審査結果の発表と表彰式が行われ、**最優秀賞には県立八戸盲学校の「南部のすけ2016」チーム『子供たちが喜ぶ給食～昼まで待てないよ～』**が選ばれました。

(審査結果及び参加チーム一覧は別紙で紹介いたします。)



第67回全国学校給食研究協議大会

11月10日(木)、11日(金)に秋田県秋田市で開催されました。

1日目は全体会で文部科学大臣表彰と特別公演が、2日目は7分科会に分かれて、実践発表及び研究協議が行われ、第6分科会「和食を中心とした献立の提供と栄養管理の在り方」では、東通村学校給食センター 飛内 美津子 栄養教諭が、研究発表『健康課題に即したスーパー食育スクール事業の取り組みから』を行いました。

